

認可保育所 アンケート

1. サービス情報の提供・案内

利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
1	子どもの一日の生活状況や事業所の特徴がわかる情報を提供している (メモ: )	1	2	3	
2	関係機関と連携をとり、潜在的な利用希望者への情報提供を行っている (メモ: )	1	2	3	
3	事業所を訪れる利用希望者の他、区市町村等利用者のサービス選択に関わる関係者にパンフレット等を配布している (メモ: )	1	2	3	
4	利用希望者がサービス選択のために必要な情報は何かを把握し、それに基づいて情報を提供している (メモ: )	1	2	3	
5	利用希望者の特性を考慮し、必要に応じて広報媒体や簡易な表現などを工夫している (メモ: )	1	2	3	
6	地域の関係機関と協働しながら、事業所の「空き情報」を提供している (メモ: )	1	2	3	
7	パンフレット、ホームページ等利用希望者が入手できる媒体で事業所の理念や利用手続き等の最新情報を提供している (メモ: )	1	2	3	
8	事業所の広報誌等広報媒体の内容を点検し、改善するしくみを整備している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用希望者の問い合わせや見学に対応している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
9	問い合わせ・見学受入の基本的方針や留意事項を明確化している (メモ: )	1	2	3	
10	子どもに影響を与えない範囲で見学希望者の都合(曜日や時間)に対応し、見学を受け入れている (メモ: )	1	2	3	
11	問い合わせや見学の際の留意点を手引書にまとめ、職員間で共有している (メモ: )	1	2	3	
12	問い合わせ等があった場合には、常に一定の内容を情報提供できるよう体制を整備している (メモ: )	1	2	3	
13	外部からの問い合わせ等について子どもの心身の安全に配慮した対応を行う体制がある (メモ: )	1	2	3	
14	問い合わせや見学者から受けた質問を分析し、それをもとに説明資料を作成している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用申込者に対する利用決定の仕組みについて透明化を図っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
15	利用の受け入れについて問い合わせ先を明確にしている (メモ: )	1	2	3	
16	事業所の現員の状況による新たに受け入れられる子どもの範囲について情報を提供している (メモ: )	1	2	3	
17	区市町村に対し、事業所の機能や特徴について情報提供している (メモ: )	1	2	3	
18	関係機関からの問い合わせへの対応体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

2. サービスの開始・終了時の対応

サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
19	サービスに関する重要事項等を説明する際に、保護者等の意向を確認し、記録化している (メモ: )	1	2	3	
20	重要な事項を説明する書類は、サービス内容等必要な情報をわかりやすい表現で記載している (メモ: )	1	2	3	
21	サービスを開始する時には、サービス内容について、原則として保護者等の理解を得ている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
サービス開始当初の環境変化に適応できるよう支援している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
22	サービス開始時に子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している (メモ: )	1	2	3	
23	サービス開始前に収集した情報が確実に職員間に共有化されているかどうか検証している (メモ: )	1	2	3	
24	利用開始直後には、新たな生活に適応できるように、子ども及びその保護者の不安やストレスを軽減するよう配慮している (メモ: )	1	2	3	
25	必要に応じて関係する諸機関から子どもに関する情報を集めて活用している (メモ: )	1	2	3	
26	子どもの個別状況に応じて、環境変化による負担を軽減し、事業所のルールや職員等に馴染むことのできるよう体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
子どもがサービス利用を終了する場合も、必要な対応を行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
27	卒園する前に保育の実施の解除になった場合、新たな事業所または自宅周辺の関係機関等に保護者等の了承を得たうえで情報提供している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

3. 事業所におけるサービスの質の標準化

提供しているサービスの基本事項や手順等を明文化している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
28	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、提供しているサービスの基本事項や手順等を明文化している (メモ: )	1	2	3	
29	日常のサービスがサービスの基本事項や手順等に添っているかどうかを点検するしきみを整えている (メモ: )	1	2	3	
30	他の事業所等で定めているサービスの基本事項や手順等のよい部分を取り入れ、改善に活かしている (メモ: )	1	2	3	
31	手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている (メモ: )	1	2	3	
32	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している (メモ: )	1	2	3	
33	手引書等に記載している内容や表記方法の妥当性を検証している (メモ: )	1	2	3	
34	手引書等は使いやすい場所にあり、必要な時にすぐ参照できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
35	職員の手引書等の活用状況を把握している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
提供しているサービスの基本事項や手順等について、見直しをする仕組みを確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
36	提供しているサービスの基本事項や手順等は、改変の時期や見直しの基準が定められている (メモ: )	1	2	3	
37	提供しているサービスの基本事項や手順等の妥当性を検証するしきみを整えている (メモ: )	1	2	3	
38	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるようなしきみを整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

サービスの基本事項や手順等を確保するために、さまざまな取り組みをしている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
39	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている (メモ: )	1	2	3	
40	個々の職員の日常のサービスのあり方、援助技術や支援方法について指導者が評価・指導している (メモ: )	1	2	3	
41	事業所全体のサービス提供レベルが一定水準に達しているかどうかを確認し、必要な対応をしている (メモ: )	1	2	3	
42	職員が一定レベルの支援方を学べるよう、サービスの場面に沿った基本事項を体得する機会を設定している (メモ: )	1	2	3	
43	職場内外の教育や業務を通じての個別指導等の実施により、職員のレベルアップを図っている (メモ: )	1	2	3	
44	必要に応じて外部の専門家等を招き、職員の対応について指導や助言を受けている (メモ: )	1	2	3	
45	職員がわからないことが起こった場合は、気軽に指導者や先輩に尋ねるよう周知する等、相談しやすくしている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
職員は、サービス向上を目指し、臨機応変に対応している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
46	事業所が提供しているサービスの一定水準を踏まえた上で、子どもの状況や場面に応じた対応を行っている (メモ: )	1	2	3	
47	通常想定されない緊急事態や突発的な事態が生じた場合の対応においても、基本となる方針や事項が職員間で共有化されている (メモ: )	1	2	3	
48	各担当者が工夫・改善した良いサービス事例などをもとに、サービスの基本事項や手順等の改善方策やその必要性を、会議や勉強会で確認している (メモ: )	1	2	3	
49	子どもの状況に合わせて、臨機応変な対応ができるよう、組織体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

4. 個別状況に応じた計画策定(個別対応の重視)

定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
50	子どもの身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している (メモ: )	1	2	3	
51	記入の仕方や表現的的確性をチェックするシステムが整備されている (メモ: )	1	2	3	
52	個別の子どものケース記録等に、具体的なニーズや課題が明記されている (メモ: )	1	2	3	
53	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている (メモ: )	1	2	3	
54	記録の書式にある項目の妥当性や的確性を検証している (メモ: )	1	2	3	
55	個別の子ども及びその保護者のニーズや課題を明示する手続きが決められている (メモ: )	1	2	3	
56	保護者等の個別要望に応じた支援ができるよう記録内容を常に更新し、活用している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
必要に応じて、保護者等の希望と関係職員の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
57	計画は、保護者等の希望を尊重して作成、見直しをしている (メモ: )	1	2	3	
58	計画は、関係する職員が合議で作成、見直しをしている (メモ: )	1	2	3	
59	計画は事業所内だけでなく、必要に応じて事業所外にある地域の社会資源の利用を視野に入れている (メモ: )	1	2	3	
60	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している (メモ: )	1	2	3	
61	計画を保護者等にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている (メモ: )	1	2	3	
62	計画は、一人ひとりの子どもの個性や生活リズムなどを尊重したケアを実現できるように作成している (メモ: )	1	2	3	
63	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めた上で、必要に応じて見直している (メモ: )	1	2	3	
64	計画は、自立支援や発達支援の視点に基づいて作成している (メモ: )	1	2	3	
65	設定されている目標への取り組み及び達成状況を確認している (メモ: )	1	2	3	
66	必要に応じて外部の専門家等から、計画に関する助言や指導を受けている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
67	必要に応じて、子ども一人ひとりの記録等の書面を整備し、計画の実施状況を記録している (メモ: )	1	2	3	
68	保護者等と共に、サービスの実施状況を確認し、記録を作成する取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
69	子どもの記録の保管、保存、廃棄に関する規程を定めている (メモ: )	1	2	3	
70	個別の子どもに関する情報が過不足なく記録されているかどうかを検証し、記録様式の見直しなどを行っている (メモ: )	1	2	3	
71	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している (メモ: )	1	2	3	
72	記録されている内容を会議等で議論したり、指導的な立場にある職員がチェックするなど妥当性や的確性を検証している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
73	計画の内容や個人の記録について、関係する職員すべてが共有できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
74	申し送りや引継ぎの際に引き継ぐべき事項や留意点などを明確にし、引継ぎ内容を記録している (メモ: )	1	2	3	
75	子どもの個別情報やサービス実施計画の活用状況を検証するしくみがある (メモ: )	1	2	3	
76	申し送り・会議等により、子どもへの支援に必要な個別情報の内容を確認し、共有化している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

5. サービスの実施

子どもの発達を促すための保育を行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
77	子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している (メモ: )	1	2	3	
78	季節に応じた活動ができるように工夫している (メモ: )	1	2	3	
79	子どもの自主性、自発性を尊重するために、遊び道具等が自由に使えるように配慮している (メモ: )	1	2	3	
80	多様な表現活動(音楽、絵、遊戯など)を経験できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
81	子どもが遊び込める時間の配慮をしている (メモ: )	1	2	3	
82	散歩で戸外に出る機会を確保している (メモ: )	1	2	3	
83	基本的な生活習慣を身につけられるような保育をしている (メモ: )	1	2	3	
84	文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている (メモ: )	1	2	3	
85	子どもが生活の中で社会的ルールを身につけられるような保育を行っている (メモ: )	1	2	3	
86	障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、程度に応じた保育ができるように配慮している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
栄養バランスを考慮した上で、おいしい食事を提供している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
87	食事はメニューに合った子どもにとっての適温で提供している (メモ: )	1	2	3	
88	個人差や体調(食欲)に応じて、量を加減できるように工夫している (メモ: )	1	2	3	
89	文化や習慣に配慮した食事を提供している(代替食、例:牛肉を鶏肉に) (メモ: )	1	2	3	
90	メニューの種類や味付けなどに工夫を凝らしている (メモ: )	1	2	3	
91	アレルギー食等、個別の子どもの特性に合わせた対応をしている (メモ: )	1	2	3	
92	行事食など季節感のある食事になっている (メモ: )	1	2	3	
93	子どもの状態にあった椅子・テーブルを用意している (メモ: )	1	2	3	
94	【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児の個々の状況やリズムに合わせて行っている (メモ: )	1	2	3	
95	食器の素材や色柄、テーブルクロス等にも配慮している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

子どもの健康を維持するための支援を行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
96	子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している (メモ: )	1	2	3	
97	既往歴及び予防接種の状況について把握している (メモ: )	1	2	3	
98	保護者に対しても乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する情報を提供し、予防に努めるよう指導している (メモ: )	1	2	3	
99	乳幼児突然死症候群(SIDS)、窒息等を予防をする仕組みがある (メモ: )	1	2	3	
100	常に良好な健康状態を保持できるよう、睡眠・食事摂取・排泄等の状況を職員が把握している (メモ: )	1	2	3	
101	歯科医師や看護師の指導のもとに子どもに必要な口腔ケアを行なっている (メモ: )	1	2	3	
102	子どもの体調に変化(発作等の急変を含む)があったときには、医療機関と連携を図り、速やかに対応できる体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
103	医療的なケアが必要な子どもに対する支援の方法について勉強会を行なうなどの取り組みをしている (メモ: )	1	2	3	
104	登園時において、子どもの健康状態を観察している (メモ: )	1	2	3	
105	健康に関する保護者からの相談に応じる環境を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
106	子どもが保育園の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など) (メモ: )	1	2	3	
107	施設内の採光、換気、保温、清潔などに配慮している (メモ: )	1	2	3	
108	子どものベット、寝具類は、いつも清潔が保てるよう配慮している (メモ: )	1	2	3	
109	遊びなど園での活動内容において、子どもの状況や個性を尊重した対応をしている (メモ: )	1	2	3	
110	園内は整理整頓され、快適で落ち着ける環境・空間になっている (メモ: )	1	2	3	
111	〔動物を飼育している保育所のみ〕 動物を飼育する場合は動物小屋等は清潔が保てるように配慮し、動物による事故の防止に努めている (メモ: )	1	2	3	
112	お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている (メモ: )	1	2	3	
113	園庭の草木、菜園、プランターの植物など、生活で緑を楽しめる工夫をしている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

園と家庭との交流・連携を緊密に行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
114	保護者などの参観は、常時可能である (メモ: )	1	2	3	
115	保護者の就労形態や家庭の事情を理解し、安心して働けるよう支援している (メモ: )	1	2	3	
116	個々の子どもの発達状況、健康状況などについて、登・降園時間の会話や連絡帳などを使って、保護者と緊密に連絡を取り合っている (メモ: )	1	2	3	
117	保護者が園の行事などに参加しやすい工夫(曜日・時間の設定等)を行っている (メモ: )	1	2	3	
118	開園時間内であれば、保護者の急な残業や不定期な業務等には柔軟に対応している (メモ: )	1	2	3	
119	便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育園での生活ぶりを家庭に紹介している (メモ: )	1	2	3	
120	子どもの登降園において、保護者以外が行なう場合、特別なしくみがある (メモ: )	1	2	3	
121	自宅での生活も含め、育児相談などを通じ、保護者からの相談に応じている (メモ: )	1	2	3	
122	園のイベントや行事等の企画から保護者が参画することが可能である (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行なっている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
123	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている (メモ: )	1	2	3	
124	職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
125	虐待・育児困難家庭の兆候を早期に捉えるために、日常の保育業務の中で子どもと保護者の様子に注意を払っている (メモ: )	1	2	3	
126	虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所など関係機関に照会、通告を行ない、その後も連携できるような体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
127	子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行なっている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

特別保育等保護者の多様なニーズに対応している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
128	特別保育に関する地域のニーズを把握している (メモ: )	1	2	3	
129	ニーズにあった特別保育内容を積極的に提供している (メモ: )	1	2	3	
130	特別保育に関する保護者アンケートを実施している (メモ: )	1	2	3	
131	地域の子育て支援の拠点となるよう特別保育に取り組む努力をしている (メモ: )	1	2	3	
132	特別保育実施に対する事業所としての考え方を明確にしている (メモ: )	1	2	3	
133	行政等と連携し特別保育に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

6. プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

子どものプライバシーの保護を徹底している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
134	職員に個人情報に関する守秘義務を徹底している (メモ: )	1	2	3	
135	個人情報に関する守秘義務の規程整備等、組織として具体的に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
136	記録の管理等について、プライバシー保護と情報開示の観点から、教育・指導を行っている (メモ: )	1	2	3	
137	広報誌等発行物の作成時には、子どもの記述に関して個人が特定されるなど不適切な記述がないかどうか責任者を決めてチェックしている (メモ: )	1	2	3	
138	子どもに関して他機関に照会したり相談したりする際には、保護者の承諾を得るようにしている (メモ: )	1	2	3	
139	事業所は子どもの個人情報等を、厳密に守らなければならないことを、保護者に周知している (メモ: )	1	2	3	
140	外部の研修会等で、子どもの情報を外部に提出する際には、保護者に説明をし、納得を得るようにしている (メモ: )	1	2	3	
141	保護者等から開示請求があった場合の対応など、個人情報に関する開示の規程を定めている (メモ: )	1	2	3	
142	子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
143	プライバシー保護が求められる理由や事業所の基本姿勢を保護者等にわかりやすく伝えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
144	思想・信条などの自由が確保されており、子どもの意思に基づく支援を行っている	1	2	3	
145	子ども個人の価値観や生活習慣に配慮した支援を行うという基本的考え方を共有化している (メモ: )	1	2	3	
146	日常のプログラムや行事の参加については、個人の意思を尊重している (メモ: )	1	2	3	
147	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながらケアに努める体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
148	子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、会議等で対策を検討している (メモ: )	1	2	3	
149	子どもの呼称などにおいても、個人の尊厳を尊重して対応している (メモ: )	1	2	3	
150	虐待が疑われる場合には、事業所内や関係機関等に相談できるしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
151	子どもの基本的な権利について、日常生活の中でわかりやすく説明をしている (メモ: )	1	2	3	
152	子どもが、自らがかけがえのない存在であることを学び、自己肯定感を高めることができるような取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

7. 安全管理

子どもの安全確保のための体制を整備している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
153	事故(感染症、災害を含む)等が発生した場合に速やかに責任者に報告する体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
154	手引書等に記載された安全確保方策が、子どもの視点に立ったものか、子どもの自由度のバランス均衡を保ったものかという視点から点検している (メモ: )	1	2	3	
155	安全管理について、リスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制を整備している (メモ: )	1	2	3	
156	安全管理・事故防止に関する取り組みを、定期的に評価・見直ししている (メモ: )	1	2	3	
157	現場職員が参加する安全管理・事故防止の検討会を開催し、対応策を検討している	1	2	3	
158	事故等に対応するための手引書(基準書・手順書・マニュアル)等を整備し、職員に周知徹底している (メモ: )	1	2	3	
159	事故等が発生した場合、所管官庁、保健所、警察等関係機関に速やかに報告する体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
160	安全管理・事故防止に関する知識・技術を共有化する取り組みをしている (メモ: )	1	2	3	
161	関係機関と連携をとり、事故等の拡大防止策を検討し、実施している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
162	発生した事故及び事故につながりそうな事例を記録し、蓄積している (メモ: )	1	2	3	
163	発生した事故について、発生要因を分析し、再発防止策・事故予防策を検討している (メモ: )	1	2	3	
164	経験の浅い職員等には、日常的な業務の中で、子どもの事故予防につながる援助技術を実践的に教える体制を整備している (メモ: )	1	2	3	
165	事故につながりそうな事例について、発生要因、事故にならなかった要因等を分析し、事故予防対策を検討している (メモ: )	1	2	3	
166	事業所内の設備(薬・危険物の保管を含む)について、定期点検を行うなど、事故の発生を予防している (メモ: )	1	2	3	
167	事故を防止するために、事業所内で援助技術、職員体制についての検討、見直しを行っている (メモ: )	1	2	3	
168	保護者に対して、事故(利用者のケガ等医療に関する事故以外に物損含む)についての事業所の対応方法を明確にしている (メモ: )	1	2	3	
169	子どもの行動特性を日常的に記録し、事故予防対策に反映している (メモ: )	1	2	3	
170	地域の関係機関との連携のもとに、事故予防策を考慮している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

8. 要望・苦情・トラブルへの適切な対応

保護者等が意見を述べやすい環境や相談体制を整備している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
171	保護者等の意見や要望を聞き相談に応じる体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
172	保護者が他者に知られたくないことを個別に相談できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
173	関係機関や専門家と連携し、相談体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
174	日常的に接する職員以外に保護者等が相談相手や相談方法を選択できることを伝えている (メモ: )	1	2	3	
175	子どもが参加する新しい活動やプログラムを始める際は、必ず子ども及びその保護者の意向を反映できるようにし、くみを整えている (メモ: )	1	2	3	
176	意見箱、保護者等の懇談会、アンケート等で事業所側が積極的に意見や要望・苦情を聞いている (メモ: )	1	2	3	
177	日常生活の中に、常に子ども本人が選択したり、意思を表明できる機会を設ける工夫をしている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
178	第三者委員の設置など、意見や要望・苦情の窓口や苦情対応体制について、わかりやすく保護者等に説明し、利用を促している (メモ: )	1	2	3	
179	保護者等からの苦情が発生したときの対処方法を検討・蓄積し、予防・再発防止に活用している (メモ: )	1	2	3	
180	要望・苦情申し出から検討経緯、申し出人等への報告、改善までの内容を記録している (メモ: )	1	2	3	
181	コミュニケーション能力や判断能力の充分でない人々等が苦情・要望等を表明しやすいよう職員間で検討し、成果をあげている (メモ: )	1	2	3	
182	苦情を申し出た保護者等に配慮した上で、苦情内容及び解決結果等を公表している (メモ: )	1	2	3	
183	苦情解決の責任者は全ての苦情とその対応結果を把握している (メモ: )	1	2	3	
184	意見・提案を受けたときの記録の方法や報告の手順、対応策の検討、公表のルール等を規定した手引書を整備している (メモ: )	1	2	3	
185	要望・苦情に対する検討内容や対応策を、苦情を申し出た保護者等にフィードバックしている (メモ: )	1	2	3	
186	外部の専門家等に相談し、苦情解決の仕組みに関する改善提案を受け、さらなる改善をしている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
保護者等からの意見等に対して組織的に迅速な対応をしている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
187	要望や苦情が出されたら方針を定め、速やかに初期対応をしている (メモ: )	1	2	3	
188	対応に時間がかかる場合には、今後の見通しについて説明している (メモ: )	1	2	3	
189	要望や苦情を出した人だけでなく、当事者以外にも対応の経緯を説明している	1	2	3	
190	要望・苦情をサービスの向上に反映している (メモ: )	1	2	3	
191	要望や苦情の中で、組織的な対応が必要なものについては、会議等で方針を検討している (メモ: )	1	2	3	
192	苦情や要望をきっかけにした改善点を、保護者等や地域社会等に積極的に周知している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

9. 地域との交流・連携

子どもの生活を広げるための取り組みを行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
193	事業所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している (メモ: )	1	2	3	
194	地域との関わりについての基本的な考え方を明文化している (メモ: )	1	2	3	
195	保護者等が地域との交流によって得た意見や要望を、積極的に地域にフィードバックしている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
事業所の機能、特性にもとづく知識・技術等の専門性を地域に還元している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
196	集会室等の施設設備や備品等を地域に開放している (メモ: )	1	2	3	
197	地域住民の主体的な参加を得て、研修会等を企画し、実施している (メモ: )	1	2	3	
198	地域の人や関連施設を対象に、子どもや施設機能の理解を深めたり支援方法等を伝えるための企画・啓発活動等(地域住民を対象にした情報提供・介護教室等の研修会や講師派遣等)を行っている (メモ: )	1	2	3	
199	地域住民のニーズに基づき、子育てサークル・介護者の集いなど住民の自主的な活動に対して、支援・協力している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
200	ボランティアや地域住民の福祉体験の受け入れ等に対する基本姿勢を文書化している (メモ: )	1	2	3	
201	ボランティア等に、子どもの守秘義務、子どもに関する留意事項等を伝えている (メモ: )	1	2	3	
202	ボランティア等の受け入れ体制を整備している(担当者の明確化、手引書の整備) (メモ: )	1	2	3	
203	ボランティア等の受け入れによって得られた成果を分析し、日常の業務改善に活かす取り組みがある (メモ: )	1	2	3	
204	ボランティアに対するオリエンテーション・研修等を行っている (メモ: )	1	2	3	
205	ボランティアから、受け入れや活動の際の方針や事業所の日常の業務の改善点を聴取し、改善に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

認可保育所 アンケート

地域の必要な社会資源を把握し、関係機関との連携を図っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
206	地域の関係機関・団体について、機能や組織とのつながりを明確にしたリストを作成している (メモ: )	1	2	3	
207	ネットワーク内で共通する問題に対して、解決に向けて共同して具体的な取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
208	地域の関係機関のネットワーク化に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
209	関係機関との連携のあり方を日常活動から分析し、改善に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
210	関係機関と定期的な連絡会を行っている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					